

本社移転の取り組み 変化と進化

○ 瀬戸 博美(株式会社キューピーあい 定着支援グループ)

山根 真希(株式会社キューピーあい 取締役経営統括 部長)

本社移転前

1 目的

目的1

共生社会の実現に貢献

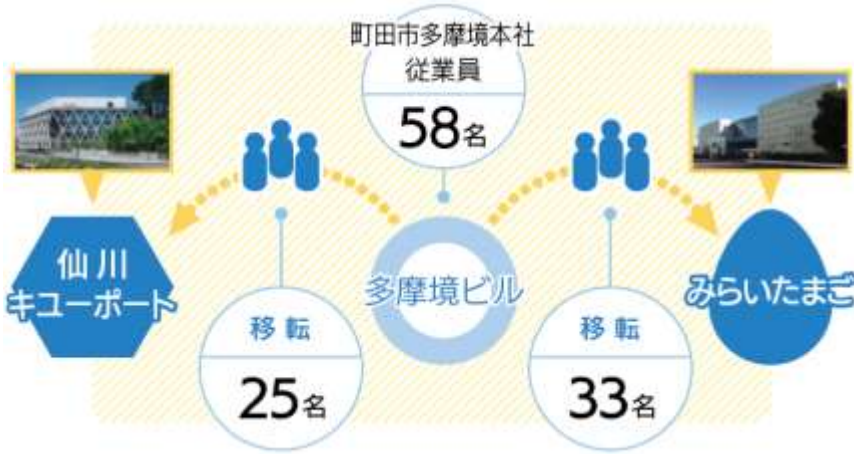
目的2

多様な人材が生き生きと活躍する企業

- グループ会社に向けて
- 新たな業務をタイムリーに提供できる
 - 障がい理解、雇用が進み「人」に対する価値観の熟成に寄与
 - ダイバーシティを推進する好機

- キューピーあいにとって
- 活躍するステージが拡大、貢献意欲の向上や自己成長の実現
 - 新たな働き方や福利厚生面での充実

2 移転発表から移転



2022年 9月12日

- 本社 全体昼礼にて発表とご家庭へのお手紙配布

2023年

- 支援機関へ連絡 通勤訓練 職場見学

2024年 5月

- 部署に分けて移転開始

2024年 6月3日

- 調布市仙川町 本社、カスタマーサポート部など
- 府中市中河原 ビジネスサポート部

移転完了

本社移転前

3 4 バリアフリー化（ハード面とソフト面）



仙川キューポート

ハード面

みらいたまご



防火扉

食堂手洗いスペース

駐車場

点字ブロック

スロープ

パトライト

1 上司との面談

2024年 発表後に1人30分。必要な人には後、複数回実施。
移転後も継続して働く気持ちがあるか不安要素の確認。
勤務地の正式発表は2024年1月、2月。

2 支援機関との面談

社員から個々に発表後、連絡。定着支援からも連絡。

3 勉強会

身だしなみ

キューピーのグループ会社と
同じスペースで働くことにな
るため、再確認の意味で
ビジネスマナーを基本に行う。

みらいたまごのNGルール

敷地内に中河原工場もあり、
物流トラック、フォークリフト
が行き来しているため、理解
いくまで開催した。



ソフト面

4 受け入れ側の勉強会

「衛生委員会主催の勉強会」
障がい理解のため弊社の社員を講師に、セミナーを
みらいたまごの 委員会より依頼を受ける。

5 「心のバリアフリー」の開催



キューピーグループ各社の本社が多く集まる
仙川キューポートに本社が移転を機に、
渋谷オフィス(キューピー本社)、仙川
キューポート、みらいたまご(中河原)に
て開催しました。
初日はトヨタ自動車の特例子会社である、
トヨタグループ株式会社様にご協力いた
だきました。

本社移転後

5 さらに場所・回数が増えた — 「ミニ手話講座」



毎週月・火曜日
仙川
キューポート拠点

その結果

キューピー生産本部、
キューピーたまごの社員
から、手話での挨拶が
見られるようになった。



毎週水曜日
みらいたまご拠点

その結果

キューピー人事本部
キャリア開発センター
社員が手話講座参加。

6 新規事業



緑化事業

中河原工場の北門から、「みらいたまご」への
沿道に花々を設置しました。
エリア内の方々から心が和むと評判です。
東電ハミングワーク株式会社様に
ご協力をいただきました。



本社移転後

7 変化と進化



変化

● 受け入れ側のハード面

移転前にバリアフリー工事を完了し、障がい者のみならずグループ会社全体の社員が使いやすくなった。

ハード

● 受け入れ側のソフト面

「心のバリアフリー」研修を受け、障がい者理解の意識が高まっていった。（意識の変化）

ソフト

進化

- 徒歩通勤から電車通勤への経路の変更が負担になると思われたが、準備期間中に通勤訓練を繰り返し、早期に安定した通勤が実現した。
- 移転に合わせて仙川の執務エリアをオープンスペースに変更したが周囲のノイズを気にする事もなく、集中して業務を遂行している。

8 未来に向けて



移転により親会社、グループ会社の拠点に入り、共生社会の実現に向けて一歩近づきました。



2年前から準備を開始し、移転後も社員が安定して業務ができるように、チーム支援者、支援機関、定着支援グループが連携し、成し遂げた結果となりました。

今後も連携を大切に、移転先のグループ会社との連携も深めてキューピーグループの障がい者雇用の環境がさらに良くなるように働きかけたいと思っています。

ご覧いただきありがとうございました。